



「この恵まれた、自然と人を
子ども達に！」

富小学校の児童は、自然と人に恵まれて育っています。

学校に気軽に足を運んで下さる地域の方のおかげで、学校行事や総合的な学習・交流学习の時間など、我々教職員だけでは教えられないことを、子どもたちはたくさん学んでいます。

我が子や孫が卒業しても、ずっとお飾り作りを教えに来て下さるおじいさん、おばあさん。子どもは数人しかいなかった大地区の方とのクリスマス交流会、読み聞かせをしに来て下さるボランティアグループ『のびのびこのわ』の方々など。子どもたちは、本当に幸せな環境の中で育っていると思います。



しかし、時節柄、学校では知らない人の誘いには応じないように指導していますが、親切な人も不審者も同じように疑わなければならぬのかと思うと、とても寂しいもの

を感じます。

先日、雪が降り、寒い中を登校する一人の児童に親切なおばさんが、

「寒いじゃろう、乗って行きんちやい。」

と声をかけてくださいました。



声をかけられた子は、このおばさんを（知らない人だ）と思いましたが、実際は近所の方でした。大人は、「Aさんの家のBちゃんだ」と知っていても、親しく話したことがないと、子どもにとっては「知らない人」に思えるのです。車社会になり、人と道で出会うことが少ないので、学校ではあいさつ運動をし、地域の方も協力をしてくださっているのに、近所に住んでいる人と言葉を交わす機会が少なくなっているのです。

お年寄りから子どもまでみんなが知り合いで、声を掛け合い、いつも安心して子どもたちが生活できる地域社会を、今こそこの富地区から築き上げたいものと思います。

富小学校 山田 倫代
鏡野町生徒指導推進連絡協議会

子どもの安全

子どもの安全のために地域の力をどう結集するかが課題でした。

2月15日、羽出公民館で「公民館カフェ」が開かれました。話題は「子どもの安全」。

ゲストに奥津小学校の安藤真二校長を招き、民生委員、愛育委員、老人クラブ、小学生を孫にもつおじいちゃんおばあちゃんなど23名が集って、お茶を飲みながら話し合いました。

羽出地区はスクールバス通学ですので、バス停毎に気になることを出し合いました。スクールバスが

到着する時刻におじいちゃんおばあちゃんが顔をのぞけること、参加者はじめ、たくさんの住民で見守り、声かけをすることで子どもの安全を図っていこうと話し合われ、老人クラブでも取り組みたいと発言がありました。

2月17日にはPTAの地区懇談会もあり、地区をあげて子どもを見守ることになりました。

自転車通学をしている中学生が日暮れて帰宅することの危険、自宅へ帰っても子どもだけの家庭もあること等も出され、行政と一体になって解決をめざす課題があることも出されました。

羽出公民館 美若 忠生

